

社会課題解決

「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業

寄付金のご協力をお願いいたします ……>



非の打ちどころのない貧困、絶対的貧困の子ども達の実数はそれほど多くはありません。しかし、一人世帯の可処分所得が年間 122 万円に満たない家庭の子ども達も多くいます。

- 40代女 「貧困の子どもが6人に1人と言っているけど、大崎にも本当にそんなにいるの？」
高校生3年男 「え？俺たちの周りにもそんな人いるの？」
高校生2年女 「やばいよね。私の周りは皆スマホ持っているしい〜。適当にコンサートにも行ってるしい〜。」
50代男 「開発途上国のようにストリートチルドレンがいるわけじゃないのに何でマスコミが騒いでるんだろうね」
30代女 「そんなの親の自己責任でないの？自分の子育てで精一杯だし、他の子のことなんか関係ないでしょ！」
30代男 「貧困ビジネスと言うのもあるらしいよ。他からお金をもらって 偽善者ぶってさ。」
60代女 「もっと行政がやるべきよ」
70代男 「いやいや俺たちが子どもの頃の昔の方がもっと大変だったさ。それでも頑張ってきたんだ。」

こんな声が聞こえてきそうですが、私たちはこうした声の一つずつ耳を傾け、対話をとおして、生まれてきた環境を選べない子ども達が将来迎えるであろう困難な状況を乗り越え、社会的自立に向けて歩めるよう伴走していきます。

将来のおおさを担う学び直しをしたいと思っても学べない環境にある子どもへの支援を一緒にしませんか!!

子どもの学び直し **志誠塾「おおさき寺子屋」** の運営にご協力をお願いします。

「負のスパイラル」から「安心スパイラル」へ

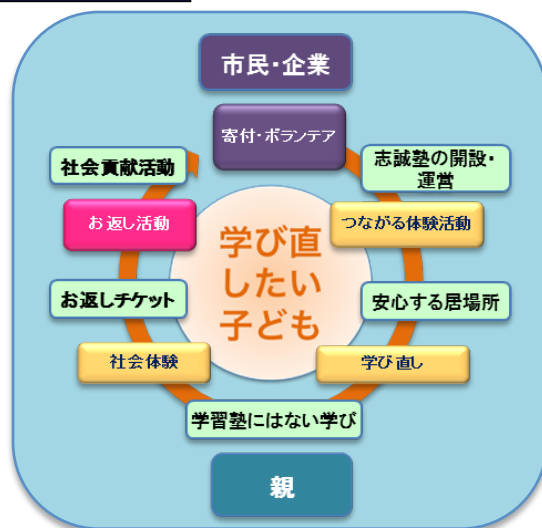
子どもの相対貧困率は16.3%、ひとり親家庭は54.6%と先進国で最悪となっています。就労や家事にとられ、子どもが親と触れ合う時間や体験不足が懸念されています。内陸部の大崎市でも同様です。

この課題を解決するために、昨年から「みやぎチャレンジプロジェクト」の支援をいただき経済的に困難を抱えたり、教室に入れない学び直しをしたい小5〜中3の子どもを対象とした志誠塾「おおさき寺子屋」を開設して活動をしています。

「**学習塾にはない学び**」をモットーに負の連鎖に陥らない切掛づくりをします。退職教員・一般・学生(高校生・大学生)の無償ボランティアをスタッフに迎え、個の習熟に即しインターネット配信教材等での「**学び直し**」、ライフスキル教育プログラムの「**人と繋がる活動**」や「**サービスマーケティング**」等の体験活動と社会体験の場を設定して自分の立ち位置を感じ取らせる活動とします。

活動に応じて「**お返しチケット**」を配付して、無理のない範囲で市民・企業から頂いた「**恩をお返りする活動**」とおして地域に根差す活動とします。

未来への投資



特定非営利活動法人 Synapse40 (シナプスフォーティ)

事務局 〒989-6105 大崎市古川福沼三丁目 13-25

Tel・Fax: 0229-22-2886

Email: synapsemail40@gmail.com

ホームページ <http://synapse40.wixsite.com/synapse40>

Facebook <https://www.facebook.com/synapse40>

Blog <http://blog.canpan.info/synapse40/>